

なは社協だより

2

月号



ほかの記事や
過去のだよりは
こちらから

171台のクリスマスケーキを寄贈!

民生委員児童委員や
関係機関の皆様と協力して
子どもたちへ届けました♪

楽しいクリスマスを過ごしてもらいたいと、12月20日(金)にケーキ店15店舗、子どもの居場所を応援する有志1団体、個人1名の協力を得て、171台のケーキを子どもたちにプレゼントすることができました。配付当日は、民生委員児童委員や関係機関の皆様が各世帯を一軒一軒訪問し、クリスマスケーキを届けてくださいました。

「子どもたちの笑顔のために」という思いを届けることができ、嬉しく思います。ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。
(担当:山城瑞穂)

クリスマスケーキありがとうメッセージ続々と!

想いが詰まったクリスマスケーキを受け取った家庭からは、「素敵なケーキありがとうございます。ケーキは高すぎて長いこと買えませんでした。支援ありがとうございます。皆様の温かい心に支えられています」など、続々と感謝と喜びの声が寄せられました。届いたメッセージカードをいくつか紹介します。コーディネートした私たちまで心が温まり、思いやりの気持ちで繋がる地域の輪を感じました。(担当:國場)

美味しいケーキありがとうございました。お心遣いに感謝いたします。何かのきっかけで、身近にまでできるお菓子と笑顔がほしいです。

クリスマスケーキのプレゼントありがとうございました。今年のクリスマスはどうにかと金銭的に不安もありましたが、おかげで子どもが喜ぶ顔が見えました。ありがとうございます。

クリスマスケーキは無くして……と思っていたけどとても嬉しいです。有難うございます。ケーキはとても可愛くて子どもも「かわいい」と喜んでいました。本当に有難うございます。

クリスマスケーキを買うお金もなく、息子に寂しい思いをさせるなあと考えていた所に、ケーキを頂き息子は大変喜んでおりました! 本当にありがとうございました!

子供達の夢中で奪い合うように食べている姿を見ることができて幸せに思います。ありがとうございます。

クリスマス後に末の子の誕生日を本家、今年生活がキツイからクリスマスが誕生日と5歳のケーキは諦めよう... となりました。子どももとても喜んでいました。本当にありがとうございました。

歳末たすけあい見舞激励金

昨年民生委員児童委員をはじめ、地域住民や企業・学校・団体等多くの方々から、温かい心のこもった善意の歳末助け合い募金が寄せられました。12月20日(金)に、この募金を活用した「歳末たすけあい見舞激励金」を寄贈された食糧品とともに、民生委員児童委員や関係機関の職員等を通して、さまざまな事情により生活に困っている市内181世帯にお渡しすることができました。

- 激励金を受け取った世帯からは、
「激励金がありがとうございました!!年末年始にかけて出費が多くなるので、とても助かります。子ども達と楽しい時間が過ごせます。ありがとうございます!!」
- 「低収入で息子のクリスマスプレゼントを買うことも出来ず悩んでいた矢先の激励金でした。とても嬉しく息子にもクリスマスプレゼントを買ってあげることができ、大変嬉しく思っております!!」
- 「物価高騰の中でクリスマスからの年末年始、本当に厳しかったので助かります。子ども達の成長に伴い衣服などもサイズアウトで買い替えなどで尚更お金がかかっていたのでありがとうございます」

など、感謝のコメントを多くいただきました。募金にご協力いただきました皆様、食糧を寄贈いただきました多くの皆様、本当にありがとうございました。(担当:武川)



嶺井宏治さんの継続的な食糧支援 ~笑顔とともに届ける温かい想い~

毎月月初になると、笑顔で食糧品を寄贈される一人の男性がいます。その方は「社会福祉法人草の会 小規模多機能ホームはれる家」に勤務される嶺井宏治さんです。嶺井さんは、平成30年から約8年間にわたり毎月、お米10袋、ラーメン、みそ汁、お茶漬けなど、合計で約3,780kgもの物品を本会にご寄贈されています。

この取り組みのきっかけは、「困っている人のために何かできることはないか」という嶺井さんの強い思いからでした。CSW(コミュニティソーシャルワーカー)に相談されたことを機に、勤務先で勉強会を実施し、その後、毎月の寄贈が始まりました。

新型コロナウイルスが大流行した際には、自宅療養者への食糧支援として、嶺井さんの寄贈品が活用されました。また、子どもの貧困対策として子ども食堂への支援や、物価高騰などにより困窮する世帯への食糧支援にも役立てられています。

嶺井さんの「誰かのために」という思いは、時代とともに変化する生活課題に応え、地域の人々の心に寄り添い続けています。その優しさと行動力は、まるで地域に笑顔の花を咲かせているかのようです。(担当:仲程)



8年にわたって寄り添い、支援を続ける嶺井さん(左から2人目)

2社合同で健康器具を寄贈 金城老人憩の家へ

(日本コンセントリクス(株)・アマゾンジャパン合同会社)

日本コンセントリクス(株)(参加者代表:サイトリード上原奈津子 写真:前列左から3人目)とアマゾンジャパン合同会社(渡辺充セリングパートナーサポートシニアマネージャー、同4人目)が、「毎日健康を意識して体力づくりに励んでいる皆様に活用してもらいたい」と高齢者の集う場的那覇市金城老人憩の家(健康増進コーナー)に健康器具を寄贈しました。

両社からは、昨年の児童館への絵本等の寄贈、困窮世帯の食糧寄贈に続く支援になります。寄贈された器具は太ももなどの筋肉を鍛える「レッグプレス」で、利用者は「仲間と楽しみながら利用していきたい」と感謝していました。



SNSやコミュニティFM(FM那覇「それいけ!みんなのなは社協」)で発信しています。YouTubeの二次元バーコードは最新の放送の配信です。



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会
発行/〒901-0155 那覇市金城 3-5-4
TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052



この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。

